様式６　　令和5年度　学校関係者評価結果　　No.１″

R5．5．17 修正版　　学校名　手打小学校　　校長名　森木　淳一

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価 評定(数値平均) 段階	人数	平均	対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約) 評定(数値平均) 段階	人数	平均	主な意見
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	A B C D	3 3	3.5		A B C D	7 5	3.6	・学校経営説明や学校運営協議会等から伝わっている。 ・学校便り、ありがとうございます。いつも楽しみに待っています。
2	(1)	望ましい子供の姿（知・徳・体）に向かって数値的目標を設定し改善に向けて努力している。	A B C D	4 2	3.7		A B C D	6 5 1	3.4	・学校便り、学校運営協議会等から伺える。 ・目標の設定値がよく分かりません。
3	(2)	**子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送ってい**	A B C D	4 2	3.7		A B C D	8 4	3.7	・学校便り、学校運営協議会等から伺える。
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	A B C D	5 1	3.8		A B C D	6 5	3.5	無答１ ・学校運営協議会等から伺える。
5	(3)	子供たちの安全（登下校時、自然災害時）について細心の注意を払っている。	A B C D	4 2	3.7		A B C D	8 3	3.7	無答１ ・学校運営協議会等から伺える。
6	(4)	**教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。**	A B C D	4 1 1	3.5		A B C D	8 3 1	3.6	・サツマイモの植え付けから収穫まで地域の人たちと一緒に生徒さんたちが喜んでいる姿が・・・ ・１名の教員が地域の方との挨拶ができていないように感じる。 ・学校運営協議会等から伺える。
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	A B C D	4 2	3.7		A B C D	9 3	3.8	・学校運営協議会等から伺える。
8	(5)	**学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。**	A B C D	5 1	3.8		A B C D	7 5	3.6	・冷暖房設備はしっかりしているが、点検・整備は気を付けてください。 ・学校運営協議会等から伺える。
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	A B C D	2 4	3.3	・保護者の学力についての意識が高くなるよう啓発が必要。	A B C D	7 5	3.6	・いつも楽しく拝見させてもらっている。 ・学校便り、学校運営協議会等から伺える。
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	A B C D	4 2	3.7	・PTA等の内容の精選が必要。	A B C D	8 3	3.7	無答１ ・学校運営協議会等から伺える。

様式６　　令和5年度　学校関係者評価結果　　No.２″

R5. 5. 17 修正版

学　校　名
手打小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約) 評定(数値平均)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約) 評定(数値平均)			主な意見
			段階	人数	平均		段階	人数	平均	
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が効果的に行われ、成果が現れている。	A B C D	3 2 1	3.3	・ICT部会の活動の一つとしてICT活用能力アンケートを実施した。しかし、質問内容が少し難しいように感じた。 ・簡単に連携が取れる手立てが必要。	A B C D	5 7	3.4	・成果がどのように現れたのか？ ・学校便り、学校運営協議会等から伺える。
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	A B C D	4 2	3.7		A B C D	8 4	3.7	・元気塾参観、学校便りから伺える。
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	A B C D	3 3	3.5	・表現が苦手な子供にとっては、苦しい時間となってしまっている部分もある。その子達なりの表現ができるよう工夫したい。	A B C D	4 7 1	3.2	・英語科は必修になってまだ浅いので中学校の英語教諭と相互に連携できるといいと思う。 ・授業での限界があるように感じる。楽しい授業がしたいのか、それとも身に付く授業をしたいのか？
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	A B C D	2 4	3.3	・最近良くなってきている。	A B C D	5 6 1	3	・挨拶はさせる挨拶より交わす挨拶が大事だと思います。こちらから挨拶したときに子供たちはちゃんと返してくれるので十分だと思います。 ・挨拶は強制しなくてよいと思います。
15	(8)	職員はＰＴＡ行事や地域行事に積極的に参加している。	A B C D	5 1	3.8		A B C D	6 6	3.5	・学校便り等から伺える。

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=１点として、学校教職員の評価を平均（小数第１位まで）

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=１点として、学校関係者評価委員の評価を平均（小数第１位まで）

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

・授業参観した際に、少人数、複式のマイナス面は感じられず、児童が楽しそうに生き生きと活動していると感じました。先生方もとても仲がよさそうなのでその雰囲気が児童に伝わっているのだと思います。

【改善策等】

（番号２）目標の設定位置については、ご指摘のとおりである。学校では例えば単元テスト後のやり直しで１００点になるようにする「１００点チャレンジ」の１００％達成や、行事などでは「持久走で〇分〇秒で走る」などの個人目標も数値化している。一方で、数字には表せない目標もあるのは事実である。今後は具体的に数値化できる目標は数値化してお示しできるようにしたい。

（番号６）挨拶については、職員連絡会や職員会議などでその良さ等について随時話をしていく。

（番号11）成果については「中１ギャップ」の解消として、具体的には他校の先輩や学校の様子を知ることができたり、調べ学習などをとおしてお互いを深く知ることができたりできて、不安がなくなっているのは事実である。

（番号13）基本的には小学校段階ではコミュニケーション力の向上だと考えている。当然そのための活動にはゲーム的要素を取り入れたり、スキットやチャンツなどもあったりするため、楽しさの味わいは大切だと考える。そうすることで身につけたい話す・聞く・読む・書く力の向上を期待している。